

園だより



ご卒園おめでとうございます！

—新しい未来への第一歩を祝して—

第一幼稚園 第5号 2017.3.17.

平成28年度を振り返るとき、どうしても忘れることのできない熊本地震。発生からもうすぐ一年を迎えようとしていますが、この災害を通して、私たちは改めて『命の大切さ』を心と体に刻みました。園生活においても最重要事項と位置づけ、日ごろから子どもたちと確認してきた“自分の命は自分で守る”をさらに意識し、様々な場においてどうしたら命を守ることができるのか、実地訓練等を通し具体的に考えながら過ごしてまいりました。こうした体験は、今後どのような環境にあっても、子ども自身が自分で考え、判断し、行動していく際の礎になるものと信じています。

時は流れいよいよ明日は『卒園式』。卒園式に向けては、「話を聴く」「返事をする」「目と目を合わせる」等、日々の生活の中で大切に積み重ねてきたことを基に取り組んでまいりました。特別なことをするのではなく、これまで行ってきたことがそのまま式の練習にも応用され、“行事は日常生活の延長上にある”ことを子どもたちが証明してくれました。ひとり一人のまっすぐで真剣な眼差しからは、“頑張るときは頑張る”の気持ちが伝わってきます。明日は皆、自信に満ちた笑顔で式に臨んでくれることでしょう。

子どもたちの入園以降、私たちはポジティブな羅針盤の形成を目指し、様々なかかわりをしてきました。生活や遊びの場で子どもたちが困難にぶつかったときには、直ぐに解決方法を知らせるのではなく、「どうしたらいいのかな。」と声を掛け、先ずは自分で考えるよう促してきたところです。安心できる環境の中で、子ども自身が自分の思い（考え）を言葉で相手に伝え合う経験を通して‘こんな考えもあるんだな’と多様な思いに気付くことができました。ひとりでは上手くいかないことも、友だちと力を合わせることで乗り越えることができたように思います。

また、みんなで続けてきた“良いところみつけ”も「自己肯定感」や「他者との調和・コミュニケーション能力」に繋がる重要なものとして、互いを認め合う関係づくりの基になっていたような気がします。

子ども達はこれからも様々な困難にぶつかることと思いますが、園生活での経験を活かし決して諦めることなく『やればできる』の気持ちで挑戦してくれるものと信じています。

保護者の皆様には、園のパートナーとして在園中温かいご協力をいただき、本当にありがとうございました。心から感謝申し上げます。お子様は卒園されますが、第一幼稚園はいつまでも‘心のふるさと’として皆様の成長を見守り続けてまいります。いつでもお気軽にお立ち寄りください。

せんせい
おともだち
さようなら



楽しい思い出をありがとう！

一緒にフォーク
ダンス



『ありがとう』の気持ちを込めて、全職員に年長さんからの手紙が渡されました。

食育（給食）

毎日お昼頃になると漂ってくるいい香りが食欲をそそり、給食の先生方が手作りされる過程を見ることで、食への興味・関心もより高まりました。

食事の前に唱和する、「ありがとうございます。」「いただきます。」の言葉には、子ども達の“作っていただいたこと”や“命をいただくこと”への感謝の気持ちが込められています。こうした毎日の食事（給食）は、バランスのとれた体作りだけでなく、心も豊かに成長させてくれたように思います。

また、給食を通してみんなと一緒に食べることの楽しさを存分に味わった子ども達です。今後もご家族揃って食卓を囲み、楽しく言葉を交わしながら、子ども達に『我が家の味』を伝えていってほしいと願っています。

安全

園では、子ども達が自分で自分の身を守るようになるためにはどうすればよいのかを常に考えながら、様々な活動に取り組んできました。

園での決まりやバス乗車での約束事を伝える際には、『なぜそれが必要なのか』を分かりやすく話してきたところです。

4月からは、歩いての登校となります。登下校中の『安全』に関しては、保護者の皆様がお子様としっかり話し合い、大切な命は自分で守るという意識付けを今後も繰り返し行ってほしいと思います。